

保育園（所）・幼稚園における病気のとときの取り扱い〔登園のめやすと対応〕

A. 学校伝染病の予防規則に準じて登園停止が必要とされている病気

病名	登園のめやす	予防法と注意すること
インフルエンザ	発熱した後5日、かつ 解熱した後3日を経過してから	予防接種があります。（有料）
RSウイルス感染症	熱が無く、咳などの症状が安定した後	
みずぼうそう	すべての発疹が かさぶたになってから	予防接種があります。（有料）
おたふくかぜ	耳下腺、顎下腺または舌下腺の腫れが発現 した後5日を経過してから、かつ全身状態 が良好となってから	予防接種があります。（有料）
はしか	熱が下がったあと、 3日を経過し元気なとき	予防接種をしましょう。（無料）
風疹	赤い発疹が消えてから	予防接種をしましょう。（無料）
百日咳	抗生物質の服用を始めて5日が経過、 または特有の咳が消えてから	予防接種をしましょう。（無料）
結核	医師が伝染のおそれがないと 認めるとき	BCGをしましょう。（無料） 家族や保育者の 健康管理が大切です。
プール熱 （咽頭結膜熱）	熱が下がり、のどの痛み・めやにが なくなったあと、2日を経過してから	
はやり目 （流行性角結膜炎） （出血性結膜炎）	眼科医が伝染の恐れが ないと認めてから	くりかえし手洗いをしましょう。 タオルの共用はやめましょう。
腸管出血性 大腸菌感染症	症状がなければ、登園できます。	くりかえし手洗いをしましょう。 おむつ交換時の消毒と手洗い。
<u>髄膜炎菌性髄膜炎</u>	<u>医師が伝染のおそれがないと 認めるとき</u>	

B. 条件により登園停止が必要な病気

病名	登園のめやす	予防法と注意すること
ヘルパンギーナ	熱が下がり、食事も十分にできて、 元気なとき	
りんご病	発疹のみで元気であれば 登園できます。	直射日光にあたらないように しましょう。
手足口病	熱がなく元気なとき	発熱・頭痛・嘔吐などに 注意しましょう。
突発性発疹	熱が下がって元気なとき	
流行性嘔吐下痢症	嘔吐・下痢症状から 回復したあと、元気なとき	脱水に注意しましょう。 おむつ交換時の消毒と手洗い。
ウイルス性肝炎	【A型】 肝機能が正常化し、元気なとき 【B型・C型】 症状がなく元気なとき	A型、B型肝炎は 予防接種があります。（有料） B型とC型は出血したとき、 十分に注意して対応する。
溶連菌感染症	抗生物質が1～2日間服用でき、 熱が下がり元気なとき	腎炎などになることがあるので、 抗生物質は最後までのみましましょう。
マイコプラズマ感染症	激しい咳や熱などの症状が よくなり、元気なとき	入院が必要な場合があります。
頭じらみ	登園できます。	ブラシ、櫛、シーツなどの共用は やめましょう。水遊びはできる。
みずいぼ	登園できます。	プールのビート板・浮き輪・タオル などの共用はやめましょう。
とびひ	治療を始めて、膿汁が出なくなったとき （患部を完全におおえば登園できる）	プール・水遊びは 治るまでやめましょう。